



大寒から立春へ・・・

早いもので、1月もあつと言う間に最後の週になりました。1年で最も寒さが厳しくなる頃とされる「大寒」を迎えています。この時季は、寒さに耐え、精神を鍛えるという日。本人ならではの修養である「寒稽古」や「寒中水泳」が行われるようですが、本校においては先日の21日、校内なわ跳び大会を実施しました。県内全域の特別警戒警報中という状況を鑑み、残念ながら保護者の皆様の参観を見合わせての大会となりましたが、子どもたちは、全員元気にこれまでの練習の成果を見せてくれました。引き続き、寒さに負けない体作りと感染症の予防に努めながら、この時季を過ごしていきたいと思えます。

○食に関する指導・・・1年

1月20日(水)、栄養教諭の栗本先生にお越しいただき、1年生に「食に関する指導」をしていただきました。

「給食センターのことを知ろう」という内容で、栗本先生が「給食ができるまで」のビデオを視聴させながら、解説してくださいました。子どもたちは、「なにこれ?」、「小松菜?」、「肉だあ〜」、「おいしそう!」などと、一つ一つに反応したり、つぶやいたりしながら、集中して見ていました。

視聴後の子どもたちの気付きも、いろいろな機械を使って作っていることが分かったなどと、給食ができるまでの様子を知ることができました。



○薬物乱用防止教室・・・5・6年生

20日(水)に、学校薬剤師の藤川先生にお越しいただき、「薬物乱用防止教室」を開きました。心と体のバランスの大事さ、「喫煙や飲酒」がゲートウエイドラッグ(依存性のある薬物の使用の入り口となる薬物)となり得ること、「薬物の種類」などについて話され、1回でも使用したら乱用になるという話を聞き、「薬物のワナ」の怖さを知りました。それは、1度手を出したら、自分の力ではやめられない、という依存症の怖さでした。また、薬物を使用した時の影響については、実験結果の映像を見ながら、子どもたちはビックリしていました。

「薬物は1回でも使ったら依存性があるので、1回でもやらないことが大切だと分かりました。」

「薬物の怖さを知りました。絶対に手を出さないようにしたいです。」

「薬についても、間違った使い方をせずに、正しい飲み方をしていきたい。」などと最後の子どもの感想からも「危険ドラッグは、脳を壊してしまおうし、命を落としてしまおうことにもなる」ということで、『危険ドラッグは毒だ!ダメ。ゼッタイ。』というメッセージが、子どもたちの心に届いたようでした。



○校内なわ跳び大会

1月21日(木)に、これまで練習してきた「なわ跳び」の成果を発表する場として「校内なわ跳び大会」を行いました。

当日は日中の日差しとともに気温も上がり、この時期としては過ごしやすく、穏やかな天候になりました。

保健体育委員会の子どもの進行で始まり、低・中・高学年別に、「種目跳び」「持久跳び」を行い、最後に「長なわ」に挑戦しました。

「頑張れ!」の声援が体育館に響き、その声援を受けながら、どの子も意識を跳ぶことに集中して、自分の目標に向け頑張り、自分の持てる力を出し切りました。

今年も「低・中・高学年、種目、跳んだ回数、時間」によって、ポイントが変わり、そのポイントの合計で競うようにしました。今回、合計ポイントが100ポイントの「満点賞」は12名でした。

最後に児童を代表して、5年生の中橋賢弘さんが、「記録は達成できなかったけど、全力が出せたから良かったです。」という終わりの言葉が印象に残りました。

これまでの努力を認め合うとともに、次の新たな目標に向け挑戦して欲しいと思います。

大会翌日の朝も、回数を数えながら「長なわ」に取り組む子どもたちの姿が見られました。



- | | |
|--------|-------------------------------|
| 1日(月) | 児童総会 |
| 3日(水) | 新入学説明会 |
| 8日(月) | 委員会活動 |
| 10日(水) | 学習発表会 |
| 11日(木) | 建国記念の日 |
| 15日(月) | クラブ活動 |
| 23日(火) | 天皇誕生日 |
| 26日(金) | 6年生を送る会 |
| 28日(日) | 市青少年健全育成研究大会
(6年：立川聖来さん発表) |